

英国人ジャーナリスト
ヘンリー・ストークスが語る
近現代史シリーズ3弾!
 ヘンリー・S・ストークス(著) 藤田 裕行(翻訳・構成)
日朝関係史

日本大逆転
 amazonベストセラー
 第1位
 今こそ、
拉致被害者を奪還し 真の独立国家へ!

読者の声
 ●219頁!今こそ日本は、「国防能力」を高める必要に迫られている。憲法を改正して、自衛隊を国軍と位置づけ、ロシアや中共の脅威にしっかりと対処できる実力を養うことが重要だ! (北海道 女性・69歳)

●ヘンリーさんの本はわかりやすく読みやすい。まやかしの平和日本には北朝鮮に多数の拉致被害者がいる。取り戻せない政府には怒りしかない。今でも竹島は占領されたまま、尖閣は中国の公船が年中来てている。危機意識のない国民に呆れる。すべての方々に読んで頂きたい (千葉県 女性・61歳)

東京裁判70年の虚妄
戦争犯罪国はアメリカだった!
 9刷!

「世界史の中の日本」
大東亜戦争は日本が勝った

大東亜戦争 日本は「勝利の方程式」を持っていた!

「対米英蘭蔣戦争終末促進に関する腹案」を基に徹底検証した目からウロコの一冊!

大東亜戦争開戦記念 出版講演会!
 12/21(金)17時開場 17時45分開会
 憲政記念館・講堂(会費1000円)予約不要

実際のシミュレーションで証明する日本の必勝戦略



私の目を開いてくれたのは、茂木さんが英語で発信する、膨大な量の「史実」であった。ヘンリー・S・ストークス (元「ニューヨーク・タイムス」東京支局長)

- CONTENTS
- 第1章 日本は侵略戦争をしたのか
 - 第2章 「対米英蘭蔣戦争終末促進に関する腹案」
 - 第3章 実際のシミュレーションによる勝利の証明
 - 第4章 なぜ勝利の戦略が実現できなかったのか
 - 第5章 秋丸機関と歴史の偽造



四六判・並製・256頁
 本体1,500円+税 ISBN978-4-8024-0071-8

大東亜戦争は「無謀な戦争」ではなかった!
 史実を世界に発信する会
茂木弘道 著



世界史を「変えさせる」勝つための戦略があった!
 それは、驚くなけれ、開戦直前の昭和16年(1941年)11月15日の大本営政府連絡会議で、正式に採択されていた。
 この戦略に沿った戦いをしていけば、日本は少なくとも負けることはなかった。
 では、なぜその戦略は実現できなかったのか。